

令和5年度 乙部町立乙部中学校 グランドデザイン

めざす教師像

- 生徒が主体的に学び、自己実現できる教育をつくる
- ①自分の考えや学び方を振り返り、アップデートを続ける教師
 - ②創造的な着想や工夫をして、新しいことに挑戦する教師
 - ③意思疎通により多様な考えの合意を図り、協働する教師
 - ④生徒の自己決定の重要性を理解し、教育活動で実践する教師

めざす生徒像

- 自分の目的に向かって自己決定できる生徒を育成する
- ①目的達成のために見通しを持って計画的に実行する生徒
 - ②知識や情報を活用して、課題解決の手立てを創り出す生徒
 - ③互いの意見や考えの違いを尊重して、対話・協働する生徒
 - ④自分の考えや行動を俯瞰し・変化させ、困難を打開する生徒

学校教育目標

『生きる力を持ち 明日の郷土を担う 心豊かな生徒の育成』

学校経営の具体的実践事項

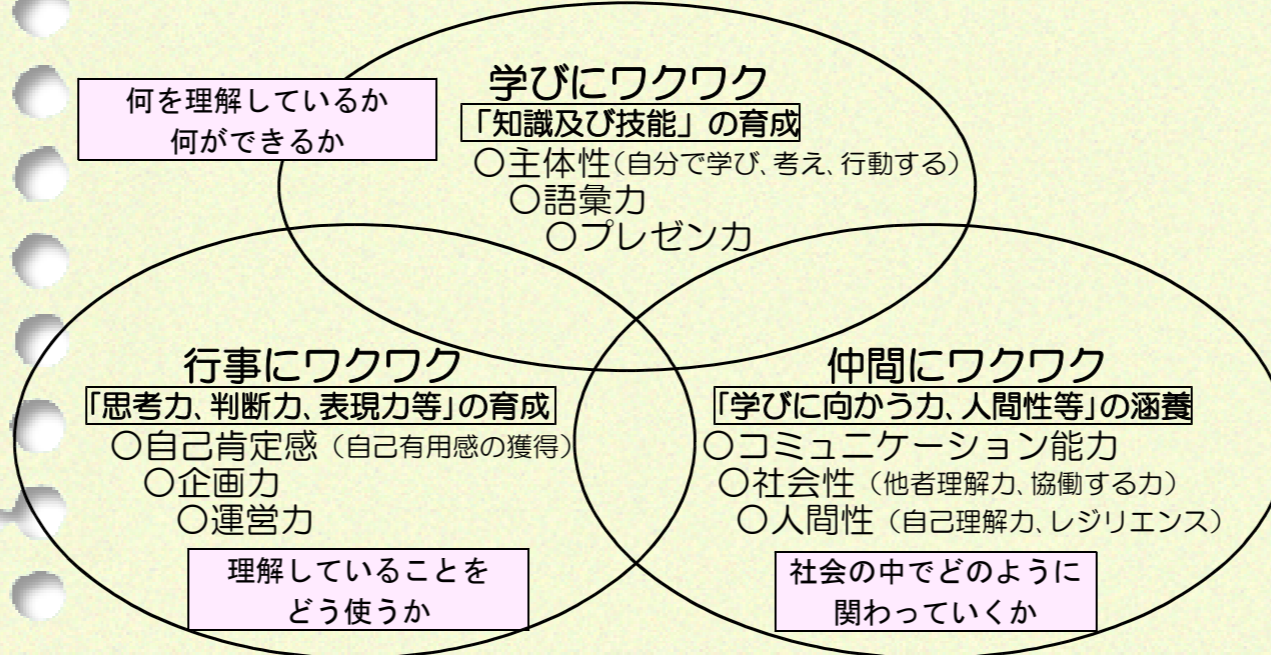
- ①生徒が通いたくなる学校
- ②保護者が通わせたい学校
- ③教職員が勤務したい学校
- ④地域に信頼され大切にされる学校

- ①カリキュラムマネジメントの充実
 - 持続可能な社会の創り手を育むESDの推進
 - アフターコロナの教育の在り方を見極める(コロナ前に戻す、コロナで変えたものを継続する)
 - 数学科、英語科におけるチーム・ティーチング
- ②個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ③ICT環境の有効活用による、学習や教育の方法を変革して新たな価値を創造する教育DXの推進
- ④各種校内研修推進による専門性と指導力の向上
 - 全教員年1回ずつの授業公開と相互授業参観
 - 実情やニーズを踏まえた職員研修(年8回)
 - 新たな研修制度に対応した研修受講の推進
- ⑤各教科や総合的な学習の時間での「教科横断的な学習」「探究的な学習」の充実(STEAM教育の土台)
- ⑥ボトムアップ・ミドルアップの組織マネジメント
 - 円滑な意思疎通で多様な考えの合意を図る
 - 心理的安全性の構築 ○OJTによる人材育成
 - 職員集団の主体性と同僚性・協働性の向上
- ⑦スクールコンプライアンスの確立(委員会設置)
 - 体罰、飲酒運転等の不祥事根絶 ○接客能力向上
- ⑧学校における働き方改革の推進(コアチーム設置)
 - 時間外在校等時間4.5時間以内/月 100%
 - 年休取得15日以上/年 100%
 - 毎水曜日Quickday(朝読・清掃・部活無し)
 - 体育祭・光濤祭の午前日程実施を継続
 - 改革コアチームによるボトムアップ型の改革
- ⑨生徒と教員の心身の健康、生活バランスに配慮した持続可能な部活動の推進(乙部中学校の部活動に係る活動方針に則って)
 - 週あたり2(平日1、土日1)日以上の休養日
 - 平日部活動終了、下校時刻は通年17:30
 - 休日地域移行を視野に入れた今後の在り方の検討
- ⑩家庭、地域との連携と協働(地域とともにある学校)
 - 学校公式サイトでの積極的情報発信
 - 学校運営協議会を核とした地域学校協働活動推進
 - PTA活動の改善(専門部統合、活動内容検討)
 - ※檜P連研究大会現地事務局業務の推進
- ⑪5類移行を見越した合理的な新型コロナウイルス感染症対応

本年度重点教育目標

『ワクワクを創る』 学びにワクワク 行事にワクワク 仲間にワクワク

2030年に向け 育成を目指す資質・能力



検証のための評価項目(学校評価や全国学調ほか)

- ①生徒
 - 「学校は楽しく充実している」100%
 - 「いじめの心配のない学校生活ができています」100%
 - 「授業はわかりやすい」90%以上
 - 「家で自分で計画を立てて勉強する」70%以上
 - 「家庭学習時間1時間以上」70%以上
 - 「将来の夢や目標を持っている」70%以上
 - 「全国学力・学習状況調査」結果が全国比100%以上
- ②職員
 - 「育成を目指す資質能力を明確にした教育活動推進」100%
 - 「ICTの効果的活用による授業実践」100%
 - 「授業での指導の個別化・学習の個性化の推進」90%以上
 - 「家庭学習の習慣化の取組推進」100%
 - 「働き方改革：時間外在校等時間4.5時間以内」100%
 - 「自己肯定感を育む特別活動の推進」100%
 - 「教育公務員としての自覚と服務規律の保持」100%
- ③保護者
 - 「子供は安心して学校に通っている」90%以上
 - 「学校はいじめ防止の手立てや対応をしている」90%以上
 - 「子供は授業がわかる」と言っている」90%以上

《学校スローガン》
「乙中プライド」～格好良い先輩を伝統に～
P:ポジティブ(前向き)
R:礼儀・あいさつ
→認め合い: I
D:団結
E:笑顔

《おとべ運動》
お:おもいやり
と:トライ
べ:ベストフレンド

乙部町立乙部中学校

〒043-0103
北海道爾志郡乙部町字緑町139番地2
TEL: 0139-62-2350
FAX: 0139-62-3685
E-mail: otobejp@educet.plala.or.jp
URL: https://otobe-jhs.edumap.jp



教育活動・指導の具体的実践事項

- ①生徒が主体的に学ぶ授業への転換(アップデート)
 - 1人1台端末の有効な活用(授業、持ち帰り)
 - ・授業支援システムによる生徒の学び方を変える活用(協働的な学び、探究的な学びへつなげる)
 - ・オンライン教材ドリル、MEXCBTによる個別進度学習(授業と家庭学習の連続した学びへつなげる)
 - 授業での反復練習、スモールステップ評価の拡充
 - 学習形態の工夫で思考・表現活動の充実
 - 授業スタンダードによる教科・学年ギャップ解消
- ②デジタル・シティズンシップ教育(デジタル社会への主体的参画)を踏まえた情報活用能力の育成
 - 主体的活用のスキル獲得 ○スマホ安全教室
 - 情報モラル教育(情報機器利用の負の側面)
- ③自己存在感と自己決定の場を与え、共感的な人間関係と安全・安心な風土を育む生徒指導の充実
 - 生徒一人一人が尊重される学級経営の推進
 - コミュニケーション力、レジリエンスの向上
 - 生徒理解(人間関係・生活実態把握)の充実
 - ・教育相談(年2回) ・ほっと等の調査
 - 生活の心得の見直し(合理的かつ生徒が意義を理解する内容へ更新する)
- ④いじめ・不登校・問題行動への重層的支援の実施
 - 未然防止そして早期発見、早期対応の継続
 - 多様性に配慮し、均質化のみに走らない指導
- ⑤命を守り、命の尊さを学ぶ健康安全指導の推進
 - 思春期講話 ○妊婦体験 ○薬物乱用防止教室
 - 避難訓練 ○救急救命講習 ほか
- ⑥基本的生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯等)の定着
- ⑦教育活動全体での、道徳性を養う道徳教育の推進
 - 学年団の協働と分担による道徳科授業
 - 外部講師による道徳科授業(全校道徳講話)
- ⑧仲間と協力し、互いの良さを発揮しながら課題を解決し、成就感・自己有用感を育む特別活動の推進
 - 体育祭・光濤祭、1年遠足・2年宿研・3年修旅
 - 生徒会活動での主体的活動場面の拡充
- ⑨乙部の歴史や文化・自然等を学び、各教科で学んだことを活用・発揮する総合的な学習の時間の推進
 - 漁業体験学習(ナマコ養殖・鮭定置網・イカ漁)
 - 体育祭や光濤祭での地域芸能学習(太鼓など)
- ⑩インクルーシブ教育の理念実現をめざした、全校生徒が多様性を認め、共に学ぶ特別支援教育の推進
- ⑪社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進
 - 進路説明会、三者面談 ○確実な進路指導業務
 - キャリアパスポート活用 ○職場体験学習ほか